

J. A. C. E. T.

日本臨床工学技士会 会誌

No. 15 2001

Journal of Japan Association for Clinical Engineering Technologists

日本臨床工学技士会

平成14年第12回学術大会開催案内

特 集

平成13年第11回学術大会論文集



目次

| | | |
|--|-------|---|
| 日本臨床工学技士会・平成14年(第12回)総会並びに第12回学術大会開催に当たり | 川崎 忠行 | 3 |
| 第12回日本臨床工学技士会学術大会開催のご挨拶 | 尾崎 真啓 | 5 |

◆ 特集 ◆ 日本臨床工学技士会第11回学術大会発表論文

シンポジウムⅠ 臨床工学技士とリスクマネジメント “臨床工学における危機管理対策”

| | | |
|---------------------------------|-------|----|
| 高気圧酸素治療における危機管理対策 | 小森 恵子 | 10 |
| 人工心肺の安全対策について | 山崎 久善 | 12 |
| 人工呼吸療法における非生理的環境低減へのアプローチ | 佐藤 敏朗 | 14 |
| 血液浄化療法におけるリスクマネジメント | 小木 幸人 | 16 |
| 医療機器・設備におけるリスクマネジメント | 加納 隆 | 18 |

シンポジウムⅡ 臨床工学技士の課題と養成校 “院内教育と学校教育の在り方”

| | | |
|--------------------------------|-------|----|
| チーム医療教育の重要性について | 山本 信章 | 21 |
| 実習生を受け入れる立場で | 佐藤 景二 | 22 |
| 臨床工学技士の課題と養成校 | 池田 徳男 | 24 |
| 川崎医療短期大学における臨床工学教育ネットワーク | 後藤 真己 | 26 |
| 4年制臨床工学技士養成所の提案 | 平井 紀光 | 28 |

一般演題<血液浄化>

| | | |
|---|-------|----|
| 「新型CTA膜透析器FB-150UHの性能評価とクリアランス算出式の意義」 | 森上 辰哉 | 32 |
| リクセル内の流量分布についての一考察—温度変化による実験から— | 土屋 正二 | 34 |
| acetate free biofiltration (AFB)の重炭酸補充液量の検討 | 服部 圭介 | 36 |
| 透析用血液回路内不溶性異物測定-その後の安全性再確認について- | 内田 麻希 | 38 |
| 透析液排液中溶質濃度連続モニタリングの意義とその実際 | 佐々木ふみ | 40 |
| 1-compartment modelによるBUN,Crea週間変動の推算 | 後藤 雅宏 | 42 |
| 各種透析液粉末製剤の成分均一性と処方再現性について | 山口 曜 | 44 |
| 粉末透析液中の微量元素(Si)軽減に関する検討 | 松本 哲治 | 46 |
| 透析液清浄化に対する兵庫県臨床工学技士会の取り組み | 安田 智雄 | 48 |
| 新施設設立における透析液の清浄化とその効果 | 八木 依子 | 50 |
| 既存の透析配管におけるエンドトキシン(ET)濃度低減化の試み | 渡辺 瑞穂 | 52 |
| エンドトキシン・生菌から見た各種カプラの評価 | 森脇 邦弘 | 54 |
| カプラ洗浄による透析液エンドトキシン濃度の低減化 | 志方 昇 | 56 |
| サンフリーLの使用経験 | 荻野 稔 | 58 |
| 重症の交通外傷に伴う筋挫滅症候群に対し血液浄化を施行した一症例 | 中島 準仁 | 59 |
| 体外式酸素化装置(ECMO)施行中に於ける脱血不良による溶血に対して PE・HDを行った事例 | 境澤 雅也 | 61 |
| 当院における急性血液浄化の現況 | 本多 幸絵 | 63 |
| 当院における透析導入患者の冠動脈病変について | 日野由香里 | 65 |
| 院内LANを活用したデータベースソフトによる透析管理システム | 中野 賢治 | 67 |

| | | |
|---|-------|-----|
| 患者情報管理ソフトの開発 | 町田 一哉 | 69 |
| クリットラインモニター (CLM) を利用した新自動除水制御システムの使用経験 | 内田 茂男 | 71 |
| 循環血液量の変化率 (ΔBV%) を指標とした除水自動制御システム (BVプロ) による安定した透析の試み | 三上 康郎 | 73 |
| クリットラインモニターによるダブルルーメンカテーテルのリサキュレーション 測定の比較検討 | 山本 敏明 | 75 |
| JMS社製 中央監視システムの使用経験 第一報 | 大宮 正和 | 77 |
| NIPRO社製透析用監視装置NCU-8の使用経験 | 野田頭伸一 | 78 |
| 一般演題<ME> | | |
| 臨床工学技士による医用テレメータ管理の実施報告 | 堀田 直樹 | 80 |
| 当院における医療用ポンプの保守管理 | 菅原 時人 | 82 |
| ICUにおけるME機器トラブル発生時の対応の現況と問題点 | 前田 充徳 | 84 |
| 医療技術専門家派遣プロジェクトの臨床工学技士として | 北野 達也 | 86 |
| ものさしがないところで長さを測る装置 | 小田 正美 | 88 |
| 電池電流が異常高値となった心房出力回路の短絡と思われるペースメーカー 植込みの一症例 | 高垣 勝 | 91 |
| 人工股関節手術支援ロボットにおける臨床工学技士の業務と課題 | 楠本 繁崇 | 93 |
| 当院におけるME機器中央管理 | 中川 麻衣 | 95 |
| 当院におけるME機器中央管理業務について | 元木 康裕 | 97 |
| 一般演題<OPE室> | | |
| 術中脳モニタリングの経験 | 山内 章弘 | 100 |
| 医用ガス分析装置 (AMIS2000SP) の使用経験 | 上野 隆光 | 102 |
| 乾電池の胃酸電気分解での水素ガス発生による電気メス引火の経験 | 北原 佳典 | 104 |
| 一般演題<呼吸> | | |
| ポータブルカプノメーター (マリネクロット社製-NPB75 カプノグラフ付き パルスオキシメーター) の過換気患者5名への使用経験 | 野口 幸 | 106 |
| 臨床工学室MEセンター業務の現状 (第3報) —人工呼吸器の中央管理— | 岩口 行廣 | 107 |
| 機械式人工鼻フィルターと静電式人工鼻フィルターの性能比較 | 木村 政義 | 109 |
| 人工呼吸器使用中の圧縮空気圧低下を経験して | 日沼 吉孝 | 111 |
| 小児人工呼吸器管理下のヘリコプター搬送における臨床工学技士の役割 | 鈴木 克尚 | 113 |
| 一般演題<循環> | | |
| 最近のCABGの傾向と臨床工学技士の役割 | 竹中 利尾 | 115 |
| 外傷性下行大動脈損傷・ARDSに対してV-V ECLAを用い救命し得た一例 | 寺内 規子 | 117 |
| 血小板増多症の体外循環の経験 | 安野 誠 | 119 |
| 当院人工心肺業務におけるアクシデント対策 | 畑中 祐也 | 121 |
| 一般演題<設備・管理> | | |
| 複雑化する医療ガスの管理方法の実施例 Medical Gas Systems Monitorの開発、導入 | 田口 彰一 | 124 |
| 院内施設増設工事に伴う停電、医療ガス遮断時に対する臨床工学技士の対応 | 伊藤 治 | 128 |
| 病院新築にあたっての臨床工学技士の関わり | 大島 浩 | 130 |
| 一般演題<学生発表> | | |
| TQC実践の一試み | 渥美杜季子 | 132 |
| 一般演題<メーカー発表> | | |
| 潰瘍性大腸炎とアダカラム治療の概要 | 竹中 良則 | 134 |
| 臨床工学技士による人工呼吸器保守管理の有用性—PB7200シリーズ保守管理記録から— | 浅井 一男 | 136 |
| IABPにおける保守管理について | 石川 忠司 | 138 |
| PEPA膜ダイアライザーについて | 神保 陽一 | 140 |
| ◆ 臨床工学技士実態調査報告 2001年3月 | | |
| 144 | | |
| <日本臨床工学技士会 会誌>投稿規定 | | |
| 152 | | |
| § 編集後記 | | |
| 153 | | |